

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名（ 2 ） 計画・設計から管理までの各段階における最適化【 2 】 新技術活用 】

モックル処理材の使用によるコスト縮減

工事名：平成15年度 国営公園三派川地区遊具整備工事

概要：従来の木材防腐処理方法（ACQ） モックル処理 （木製デッキ 533㎡分）

効果

従来の防腐処理方法より約**1.5倍の耐久性**があり、コスト縮減になる。

30年間の施設維持費：（従来） 51.2百万円 （モックル処理） 37.6百万円
[木製デッキ-1（533㎡）1式当り]

（縮減額13.6百万円、縮減率27%）

木材の風合いを損なわない。

従来处理方法では銅系の薬液を使用するため、緑色に変色する。

30年間の施設維持費（㎡当り）

	従来方法 （ACQ処理）	モックル処理
当初施工費(円)	31,020	34,500
改修費用(円/回)	32,520	36,000
改修回数	2	1
費用合計(円)	96,060	70,500

縮減額 25,560 円/㎡

モックル処理とは

薬液を木材内部で科学変化させて防腐・防蟻・寸法安定をもたらせる科学改質処理。

異臭や表面のべたつきもなく、無処理と同様の風合いを保つ。

